【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2005-231662(P2005-231662A)
【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-034
【出願番号】特願2004-42520(P2004-42520)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　83/76　(2006.01)
Ａ４５Ｄ　34/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　83/00　Ｋ
Ａ４５Ｄ　34/04

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月14日(2007.2.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
【課題を解決するための手段】
その際、吐出液導管８の下端部に配設した水吸収体１２により、上昇水を吸収することになり、急激に上昇する水勢を緩和することができると同時に、上昇水の一部を当該水吸収体１２により吸収することになり、上昇する水量を調整することが可能となる。
更に、該吐出液導管８の上端部に配設した網状体１９により上昇水の勢いを再度緩和することができ、水が大量に吹き出すことを防止している。
従って、押圧部７の操作により、該押圧部７に到達した水は小量となり、指先やビニール袋等の対象物に湿潤を与える程度の吐出量となる。
また、使用者が使用する間隔があいても、上記水吸収体１２に水が吸収され留まっているので、再開後の水の上昇をスムーズに行なうことが可能となり、軽い一瞬のタッチで間断なくビニール袋を開けるのに必要、十分な程度の水を得る事が出来るようになった。